



世田谷稲門会

# 世田谷稲門会会報

平成28(2016)年7月24日  
**第 62 号**  
 発行人 世田谷稲門会  
 編集 横田吉明、田並浩一、森田俊浩、小寺信秀、小寺隆夫、小寺信秀、小寺隆夫、小寺信秀、小寺隆夫  
 事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東 3-1100-12 M2209  
 TEL/FAX 044-433-9202  
 林 馨 (はやし かおる)

**「翡翠宮」の中国宮廷料理の流れをくむ北京・上海料理を楽しみながら、シャンソンに耳を傾けましょう。**

**出演はシャンソン歌手の森田日記さんです。**

森田さんはテレビドラマ「プレイガールQ」で芸能界デビューし、アクションドラマやバラエティで活躍し、19



今年度の納涼会は主催世田谷稲門会(担当玉川会)とバザーがレディースクラブ・地域サポート活動部会・玉川会の共催で、新宿のハイアットリージェンシー東京27Fエグゼレンスで開催されます。

**納涼会はシャンソンと中華料理を!**

平成28年8月28日(日) 12時開宴

**ハイアットリージェンシー東京(新宿)にて**



86年に一旦活動休止したが2002年ライブハウスで活動再開、以後シャンソンをメインに精力的に音楽活動をされています。歌と語りのコラボによる「ピアフ」の人生を描いた「ピアフ・愛する権利」や「百万本の薔薇」が好評を得ています。

**チャリティバザーを開催**

バザーの売上金は「地域サポート活動部会」を通して福祉施設への寄付といたします。

納涼会お申し込みは、本誌と同封のご案内・パンフレットをご覧の上、お振り込みください。会費は8000円です。(振込用紙同封)

**平成28年度役員体制** H28. 6. 13

役職	氏名	卒年・学部	担当など
常任幹事・会長	横田 吉明	昭38・商	
常任幹事・副会長	鈴木 宏治	昭38・商	ブロック会統括
常任幹事・副会長	露木 茂	昭38・政経	イベント企画統括、レディースクラブ統括
常任幹事・副会長	熊谷 慶紀	昭38・政経	部会統括
常任幹事・副会長・幹事長	島田 實	昭40・法	
常任幹事・事務局局長	林 馨	昭45・理工	事務局統括、地域サポート活動部会統括
常任幹事	国澤 俊一	昭43・理工	23区支部統括、組織拡充統括
幹事	河野 美和子	昭35・教育	レディースクラブ担当
幹事	矢後 勝洋	昭40・政経	ブロック会担当
幹事	真木 郁夫 (新任)	昭40・理工	ブロック会担当
幹事	富塚 兆彌	昭41・政経	組織拡充担当
幹事	小林 昭一郎	昭41・政経	部会担当
幹事	旭 正勝 (新任)	昭41・商	部会担当
幹事	桃井 清治	昭44・政経	事務局・会計担当
幹事	井上 文	昭45・理工	組織拡充担当
幹事	小口 浩一	昭45・法	広報HP担当
幹事・副幹事長	榎井 俊一	昭46・理工	広報HP統括
幹事	薄井 好雄	昭47・商	事務局担当
幹事・事務局局長補佐	戸田 昇	昭47・政経	事務局担当、23区支部担当、23区支部幹事
幹事	斎藤 正憲	昭50・理工	事務局担当
幹事	後藤 章子	昭52・政経	事務局担当、レディースクラブ担当、地域サポート活動部会担当
幹事	中島 史郎	昭59・法	青年部担当
幹事	池田 友彦	昭62・文	青年部担当
監事	寺島 邦夫	昭38・政経	青年部統括、広報HP担当、イベント企画担当
監事	山田 昭	昭50・政経	組織拡充担当
顧問	土倉 享一	昭34・政経	
顧問	柏 良子	昭31・政経	レディースクラブ担当
顧問	麻生 卓司	昭34・政経	

第25回定時総会報告



第25回定時総会会場

梅雨入りとは思えない、爽やかに晴れあがった平成28年6月11日(土)、第25回定時総会及び講演会、懇親会が四谷駅前の主婦会館プラザエフにて開催された。

第一部の総会は、会員79名、来賓6名の出席で午後4時半に島田幹事長の司会で始まった。議事に先立ち物故者へ黙祷し、横田会長の挨拶、出席



第1部司会の島田幹事長

者数の報告の後、横田会長が議長となり、「議案Ⅰ」平成27年度事業活動報告承認の件、同決算報告承認の件、同監査報告、「議案Ⅱ」平成28年度事業活動計画承認の件、同予算案承認の件、「議案Ⅲ」任期満了に伴う役員改選の件をはかり、すべて異議無く原案通り承認可決された。議事終了後、今回新たに幹事に就任した真木郁夫、旭正勝両氏が紹介された。

続いて、来賓の早稲田大学常任理事守田芳秋様、早稲田大学地域コーディネーター嶋村貴志様及び近隣の狛江稲門会の牛尼会長、杉並稲門会の久保田会長、世田谷三田会の横山事務局長が紹介された後、守田様からご挨拶と大学の現況などのご報告をいただいた。



日本水泳連盟の青木会長

第二部の講演会では早稲田大学出身の日本水泳連盟会長・青木剛様に「日本水泳—リオ・東京へ向けての現状と展望」と題したご講演をいただいた。

リオオリンピック開催まで2ヶ月に迫ったこの時期に「水泳ニッポン」を牽引して頂く青木会長から早稲田大学に係する水泳競技の出場者の方々にまつわる話題も含めたご講演を聴けた事は非常にタイムリーであった。



懇親会で対談、青木さんと露木さん

第三部の懇親会は同会館の9階に場所を移し、講演会に引き続き斎藤幹事の司会で進められた。横田会長の挨拶の後、嶋村様と牛尼会長にご挨拶をいただいた。



第2、3部司会の斎藤幹事



第3部懇親会で挨拶する横田会長

昨年度以降に本会に入会され、今回の総会に出席された3名の「新入会員」の紹介に続き、久保田会長の音頭で乾杯、歓談に移った。

各テーブルに運ばれた大皿料理に参加者全員が舌鼓を打った。合間にはこの秋に開催される稲門祭の案内と福引券付き記念グッズ購入のお願い並びに注文の受付、8月28日(日)に開催予定の納涼会の紹介があった。また、「地域サポート活動部会」からのお礼があった。



守田芳秋常任理事



狛江稲門会 牛尼会長



懇親会場



校歌斉唱をリードする池田幹事

最後に応援部OBの池田友彦幹事のリードによる校歌斉唱で盛会のうちに幕を閉じる予定であったが、歌い終わった後に急遽牛尼会長がマイクを握って登壇、「人生劇場」の語りと歌を披露され、「人生劇場いざ序幕」の歌詞で締めくくる事が出来た。

(斎藤 正憲/記)



地域サポート部会報告

## 世田谷稲門会・平成27年度決算及び28年度予算

(単位：円)

項 目		27年度予算	27年度実績	28年度予算案
前期末積立金		200,000	200,000	300,000
前期繰越金		893,000	893,000	1,089,646
収 入	年会費(準会員含み)	1,372,000	1,436,000	1,393,000
	総会 会費	800,000	678,000	800,000
	新年会 会費	1,000,000	822,000	1,000,000
	納涼会 会費	1,000,000	1,031,000	1,000,000
	諸行事 小計(A~ウ)	2,800,000	2,531,000	2,800,000
	組織強化補助金	513,000	505,000	496,000
	利息収入	93	104	104
	預り金	0	△8,000	0
	その他収入小計(エ~カ)	513,093	497,104	496,104
	収入合計②③④	4,685,093	4,464,104	4,689,104
支 出	総会 費用	800,000	678,150	800,000
	新年会 費用	1,000,000	697,087	1,000,000
	新年会景品代	100,000	74,624	100,000
	納涼会 費用	1,000,000	1,023,823	1,000,000
	諸行事 小計(1~4)	2,900,000	2,473,684	2,900,000
	早大琳ターズクラブ寄付金	50,000	50,000	50,000
	地域サポート活動費	20,000	3,120	0
	ブロック、部会支援金	70,000	80,000	70,000
	ブロック・部会代表者会議費	40,000	2,073	40,000
	校友会23区活動費	200,000	156,106	200,000
	広報活動費	650,000	659,064	650,000
	事務運営費	20,000	1,800	0
	会議費	270,000	249,012	270,000
	事務用品費	120,000	116,963	120,000
	通信費	210,000	186,570	210,000
	名簿作成費			100,000
	雑費	80,000	89,066	80,000
	大学寄付金(新記念会堂)		100,000	
	積立金繰入額	100,000	100,000	100,000
	諸経費 小計(5~18)	1,830,000	1,793,774	1,890,000
支出合計I+II	4,730,000	4,267,458	4,790,000	
次期繰越金	848,093	1,089,646	988,750	
積立金(記念事業等)	300,000	300,000	400,000	

27年度次期繰越金+積立金=1,389,646円 内訳

現金63,637 銀行預金767,644 ゆうちょ預金558,365

## 新役員紹介

今年は2年に一度の役員改選の年です。ほとんどの役員が留任されていますが、次の2名が新任されました。

真木 郁夫 氏(昭40理工)



旭 正勝 氏(昭41商)



## ブロック会だより

### 西北

平成 28 年 3 月 19 日(土)に第 37 回西北会例会を開催。第一部は午後 2 時より代々木上原の「古賀政男音楽博物館」にて“永遠の古賀メロディー・クラシックコンサート - 2”を拝聴。往時の魅惑的な日本映画音楽から選曲。抒情的な古賀メロディーをオペラ歌手が時に激しく時に優しく絶妙なテクニックで熱唱。司会兼ピアノ演奏の会田通孝氏の淡々とした話しぶりも歌を引き立たせるに十分。本来のクラシック曲に入ってからにはオペラ歌手らしく張りのある澄んだ声で会場を酔わせた。全員で「東京ラブソディ」を大合唱して会場を後にした。



第二部は表参道に移り、午後 5 時半より NHK 青山荘で懇親会を開催。柏良子代表より大勢の参加に謝意を示された後、松村秋森さんより台湾から上京、入学して以降の経緯を紹介され、“今宵はゆっくり”と乾杯の発声で開宴。矢島嗣久北澤八幡神社宮司からはGW期間に各施設で芸能祭を開催するのでお楽しみくださいとの案内があった。時間も迫り、櫻井昭一さんから“この楽しい会をいつまでも”と中締め挨拶で再会を約して解散。参加者 28 名。  
(桃井 清治 / 記)

### キャロット

平成 28 年 6 月 5 日(日)、正午より三軒茶屋キャロットタワーの地下にあるイタリアンレストラン「オリーブの木 三軒茶屋店」にて、新しくキャロット会に入会された方々と世話人との懇親会を開催しました。新入会員 5 名と世話人 2 名の計 7 名で、昼食をとりながら自己紹介や世田谷稲門会への入会のきっかけ、ご趣味、ご意見をざっくばらんに伺いました。昭和 41 年卒から平成 24 年卒まで年代はバラバラでしたが、ウォーキングや俳句などについて盛り上がり、楽しく日曜の昼のひと時を過ごしました。(榎並 俊一 / 記)



(参加者) 中西泰介、河井洋介、鈴木俊光、富塚兆弥、宗慎治、榎並俊一、早川久美子

### 千歳

平成 28 年 4 月 23 日(土) 11 時から、横田会長にもご参加いただき 15 名にて神代植物公園を散策する会を開催しました。

2 組に分かれて、ボランティアのガイドさんの分かりやすい説明を受けながら、赤やピンク、白など見事な牡丹の花、見ごろを迎えた藤の花やつつじなどに感嘆の声が上がりました。なんじゃもんじゃの木やハンカチの木など珍しい樹木も案内していただき、天候にも恵まれ、充実した植物観賞会となりました。



12 時 30 分から隣接する深大寺「水神苑」に場所を移し、5 名を加え総勢 20 名にて懇親会を開催しました。会計報告、昨年の会員増強キャンペーンの結果報告、総会・稲門祭の案内など事務連絡の後、乾杯にて懇談に入りました。和気あいあいの中、各人からの近況報告や稲門祭記念品の販売などが行われました。最後に名物の深大寺そばを食し、14 時 30 分過ぎに宴を閉じました。

今回初めての昼の開催としましたが、意見を聞きながら、今後の開催方法について検討していきたいと考えています。  
(戸田 昇 / 記)

### きぬた

平成 28 年 4 月 1 日(金)、砧公園で「花見の会」をキャロット会との合同企画で催しました。近年、桜の開花日が年々早まってきておりますので開催日の決定に気を使いましたが、世話人の日頃の行いが良かったのでしょうか、天候に恵まれ、楽しい会となりました。



11 時から午後 1 時をコアタイムとし、参集散会は自由の会としましたが、当日は飛び入りの方を含め 28 名もの会員にお集まりいただきました。1 時過ぎに一度中締めをしましたが、その後も殆どの方がお残りに

なられ、3時過ぎまで満開の桜のもと楽しいお話が続きました。

あらかじめビール・ウーロン茶等の飲料、仕出し料理、乾き物のおつまみ等を準備しましたが、それ以外にも多くの参加者の方が日本酒、ワイン、焼酎と持ち寄って下さいました。開宴時には飲み残しが出るのではと心配しましたが、全くの杞憂に終わりました。

これからも長屋の花見の如く毎年催していこうとのお声もお聞きしましたので、今後も継続して開催しようかと考えております。是非他のブロックの方も合同で催しませんか？ (國澤 俊一/記)

## 玉川

平成 28 年 5 月 14 日(土)に総会を玉川区民会館で開催しました。本部から横田会長と桃井幹事にご出席いただきました。現在玉川会の会員数は 71 名ですが、30 名が出席しました。午前 10 時 30 分に林さんの司会で開会。今年度より代表世話人が交代しましたが、まず前代表世話人の小林(昭一郎)さんの退任挨拶があり、続いて真木新代表世話人より就任の挨拶と所信表明がありました。



議事に入り、新年度の世話人人事異動報告、27 年度活動報告及び決算報告、28 年度活動計画報告が承認されました。続いて玉川会会員の岩沙脩さんを講師に迎え、「日本航空時代のあれこれ」の演題で講演会を行いました。岩沙さんは昭和 29 年政治経済学部卒業後日本航空に入社、航空大学校で学んだ後パイロットの道へ進み長年機長をお務めになり、その後も会社の要職に就かれていました。豊富な経験に基づく、大変面白く且つ貴重なお話を聴くことが出来ました。

引き続き懇親会に入りました。司会が太田に代わり、冒頭に横田会長にお言葉をいただきました。米窪さんの発声で乾杯をし、食事と歓談となりました。今年のスピーチは上野さんをお願いし、貴重な体験談を聞かせていただきました。大内さんに締めめの挨拶をしていただき、3 時前に閉会しました。(詳細は、HP をご覧ください) (太田 隆/記)

## けやき

① 平成 28 年 4 月 16 日(土)、総会兼懇親会が千歳船橋のレストランオーランドブーで開催されました。総会後の講演は、IVUSA 危機対応研究所事務局長で NPO 法人国際ボランティア学生協会理事の宮崎猛志氏にお願い致しました。宮崎さんは阪神大震災以降の国内外の災害現場において救援・復旧・復興活動を行っておられます。熊本大地震が起きた直後でもあり、参加者の関心も高くタイムリーな講演となりました。但し、時間が足りなく駆け足のお話となったのは残念でした。講演後の懇親会の参加者は 18 名で、いつものように和やかな歓談となりました。



② 春のゴルフ会が 4 月 26 日(火)熊谷慶紀様のご厚意で姉ヶ崎 CC にて開催されました。当日は天気にも恵まれ、9 名参加の下、ハンディに基づく戦いが行われました。難しいグリーンにてこずる方も多く、結果は最もハンディの低い旭正勝さんが優勝しました。恒例のゴルフダービーは初めて当てた方が誰もいないという状況となりました。秋のゴルフ会は 11 月に武蔵松山 CC で開催の予定です。(工藤 隆司/記)

## さくら

さくら会恒例の春季懇親会は平成 28 年 3 月 13 日(日)午前 11 時半～午後 2 時まで 17 名が参加して、三軒茶屋の銀座アスターにて中華料理のフルコースを楽しみました。当日は本部の横田吉明会長のご挨拶と鈴木宏治氏によるブロック活動の話の後、飯島勲氏の会計報告、矢後勝洋氏の乾杯の音頭で昼食懇親会となりました。



スピーチタイムでは川越に転居した近藤順亮氏からの川越稲門会の話、井山庄司氏の災害日本に対する物心両面での支援活動、そして前原祖彦、関根昌一両氏からは戦後 70 年の節目を迎えた日本の現況とこれから進むべき道への厳しさを熱い言葉で語られたのが印象に残りました。楽しみのピンゴゲームで一喜一憂した後、田中勝氏による閉会の挨拶で締め、都の西北の合唱と記念写真の撮影を行って終了となりました。(江原 利次/記)

## 特別部会だより

### 地域サポート活動

最近メディアでも取り上げられているように、全国では6人に1人が貧困であるという信じられないデータがあります。ひとり親の場合は半分以上が貧困ということだそうです。

さらに子どもの貧困については、生活保護世帯収入との関連で見た別の調査もあり、この収入以下で生活する世帯の割合を貧困家庭とすると、全国では約14%、東京では約10%ということです。

さて、世田谷区といえば比較的余裕のある層が住んでいるイメージがありますが、実情はどうなのでしょう？現在、公表されているデータはありませんが、複数の小学校の校長先生に何うと、多数ではないがいるというお話でした。

ところで、地域サポート活動部会では、前年度、皆様からご寄付いただいた募金から自立援助ホーム「憩いの家」(経堂)と、アフターケア事業「ゆずりは」(小金井市)等へ寄付させていただきました。これは今年度も続けてまいります。

一方、この他にも身近で地域に還元できる活動は無いかと考えておりました、是非とも会員の皆様からご提言・ご助言をいただければと思います。

(地域サポート活動部会の定例会議は原則毎月1回開催しております。)

この夏の納涼会では昨年に引き続き、レディースクラブ・玉川会との共催でバザーを開催させていただきますので、今年も温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

前号のご報告後、3月6日以降の募金状況を以下にご報告いたします。

ゴルフ部会:19,600円、きぬた会・麻雀部会:4,120円、玉川会:4,000円、千歳会:3,000円、世田谷稲門会総会:6,681円、匿名ご寄付(延べ3名):30,000円、募金総額は前記2施設等へ寄付済みの20万円を差引き、現在合計273,351円となっております。  
(井上文・林馨/記)

### レディースクラブ

今年も玉川会と共に、納涼会のお手伝いをします。昨年、初めての試みとして納涼会会場でバザーを開きましたが、たいへん好評でした。今年も玉川会・地域サポート活動部会と共催で行いますので、みなさまのご協力をお願い申し上げます。お品の提供など、詳しくは会報に同封のちらしをご覧ください。

また、9月10日(土)には、会員の中村京さんを講師に、「老後の備えとは～安心な老後の生活と資産継承のために」についての講座を北沢タウンホールで開きます。安寧な老後を過ごすために資産の基盤整備は誰にとっても大切な課題です。みなさま、どうぞご参加ください。詳しくは会報に同封のちらしをご覧ください。

(篠崎 章子/記)

### 青年

次回の青年部例会は、平成28年6月8日時点において、7月22日(金)に開催を予定しています。現在、青年部メンバー等の出席確認を行っているところですが、毎回参加人数は20名弱となり今回も同程度の参加者が見込まれます。普段の例会は、各世代の早稲田卒業生が集まり、賑やかで楽しい会ですが、なんといっても今回の目玉は、元フジテレビのアナウンサーで現在世田谷稲門会の副会長である露木茂様に、我々青年部の例会にてスピーチをしていただくことです。アナウンサーとしてのご経験など貴重なお話を直接聴くことができると思います。今後も青年部メンバーでの集まりの際にいろいろとイベントなどを企画していきたいと考えていますので、ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。(この会報がお手元に届くころには例会は終了していると思われるので、関係者にはすでに連絡しておりますので、悪しからずご了承ください。)

(佐伯 潤/記)

## 趣味の部会だより

### 芸術芸能鑑賞

陽春を迎え各地でコンサートや落語会が盛んに開催されている。当鑑賞会はその中でも、会員の関係者や良心的な主催者を優先的に案内している。5月20日は三越劇場で花田さん出演の「ポピュラー音楽祭」は残念ながら開催日に世田谷稲門会の他のイベントが数多くあり参加者は少なかった。5月26日は「三越落語会」

が満員の盛況で開催、三越劇場のすごさを実感した。6月17日は国立劇場で「歌舞伎教室」を予定している。中村橋之助さんの出演で人気を呼んでいる。12名の参加予定。今夏は酷暑が予想されるので7月・8月の案内は避けたいと思う。  
(鈴木 宏治 / 記)

## カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日 13:00 ~ BIGECHO ハッピーパーティ下北沢駅前店。参加費 2000 円。3 ~ 5 室入れ替え 10 数曲を歌う健康カラオケサロンの雰囲気。

第 108 回 3/5(16 名)、第 109 回 4/2 (21 名)「総会」運営・監査承認・「カラオケ教室」(写真)、第 110 回 5/7 (12 名)。

■講師<歌心りえ>プロ歌手ライブ拠点「空飛ぶこぶたや下北沢」。自ら 88 鍵のキーボードを肩に担いで運び。自己紹介でアカペラの「虹の彼方に」(オズの魔法使い)を披露。全員でボイストレーニング後、各自のリクエスト曲をカラオケでワンコーラス歌い、個人指導を受けて仕上げ再演。(18 名=3 時間)

■<感想>発声法など初歩が学べ、声が出るようになった / 声の出し方表現力が参考になり、マイクの使い方も確認でき、年に一回あれば参加したい / 個人指導も分かり易く、自分の欠点に気を付けて歌いたい / 歌い始めの音程に自信なく曖昧なのをハッキリ力強くとの指導に新境地が開けた / 子音の発声をシッカリとのアドバイス、他人からも言われている / 各人に合った指導に“さすが”と思った。  
(倉田 豊 / 記)



## 囲碁・将棋

平成 28 年 5 月 28 日(土) ~ 29 日(日)、世田谷区立老人休養施設「ふじみ荘」において、囲碁部の定例会が開催された。今回は近隣稲門会との合同ではなく単独囲碁会だったので少人数での開催となった。9 名の棋士たちが午前 10 時半に集合し熱戦を繰り広げた。

結果は、最高段の池松八段が 6 戦全勝で余裕の優勝。首藤四段が 5 勝 2 敗で準優勝、武藤七段が 3 勝 2 敗で 3 位であった。他に斉藤五段、星野四段、丸山四段、佐藤四段、萩原二段、榎並二段が参加。  
(榎並 俊一 / 記)

### 第 16 回オール早稲田囲碁祭

6 月 4 日(土)、市ヶ谷の日本棋院にて開催され、世田谷稲門会から池松八段、武藤六段、斉藤五段、遠藤五段、首藤四段、佐藤四段、藤巻四段、長谷川三段の 8 名が参加した。結果はチーム戦では残念ながら世田谷稲門会チーム、大田稲門会合同チームともに 2 勝 2 敗で表彰外だった。  
(池松 正之 / 記)

### 第 11 回オール早稲田将棋祭

3 月 19 日(土)学生会館にて三田会合同で行われた。23 名参加したが、世田谷からは柴田が海外旅行の為参加できず、飯田保則五段 1 名の参加となった。飯田氏はこれまで三田会合同ではないが、3 年連続優勝の実績である。今回も A クラスで 3 位。早稲田組ではトップで優勝を果たした。  
(柴田 昇 / 記)



## 俳句

毎月第 3 月曜日の午後 1 時から開催される句会は、日下野由季先生から出された兼題と季節に相応しい俳句を持ち寄って行われています。4 月の兼題は桜を意味する(花)、5 月は(薔薇)に挑戦して俳句作りを通して季節の移り変わりを楽しみました。  
(江原 利次 / 記)



花散るや不意の別れは無彩色	榎並俊一 (恵那)	花筏ボートの波に碎け散る	沼田宣子 (宣子)
切株に花一輪の息吹きかな	江原利次 (利水)	レガッタのゴール間近や旗と花	田中 勝 (まさる)
薔薇の雨ルビーのしづくこぼしつ	松尾 守 (まもる)	古本の山を眺めておけら焚く	暮田忠雄 (上馬の)
人力車乗りたるふたり若葉風	冨塚兆弥 (兆弥)	学僧の列足早に樟若葉	家井雪子 (ゆきこ)
咲き誇る薔薇閉ざされしままの門	矢後勝洋 (ひろし)	四股名あり武者の名もあり花菖蒲	荒居隆二 (たか二)

## 麻雀

麻雀部会月例大会の結果は次の通りです。

- 3月12日(土) 於：祖師ヶ谷大蔵「天狗」  
優勝：小池早苗 準優勝：橋本大道 3位：桃井清治 参加者28名
- 4月10日(日) 於：用賀「鈴家」  
優勝：高橋毅 準優勝：江口工 3位：高橋義幸 参加者24名
- 5月7日(土) 於：用賀「鈴家」  
優勝：刀根秀巳 準優勝：桃井清治 3位：高橋義幸 参加者28名
- 目黒稲門会との親善大会  
4月9日(土) 於：用賀「鈴家」  
優勝：鈴木重彦(目黒) 準優勝：郡山弘文 3位：小池早苗



当部会は設立以来、下谷内堯氏が代表世話人としてお一人で会の運営にあたられて参りましたが、一昨年末に体調を崩され、今年4月より代表世話人を國澤俊一氏と交代致しました。また同時に月例大会の会場を用賀「鈴家」に移行し、毎週水曜日の懇親親睦会とともに会場を一本化することに致しました。皆様お気軽にご参加下さい。  
(飯田 保則/記)

## 釣り

春の乗込み真鯛釣りは3月27日(日) 駒崎間口港利一丸より6名参加。真鯛無し、イナダ1~5匹、大鯰は鯛仕掛けで4~5匹と低調。4月17日(日)は悪天候の為中止。5月22日(日)利一丸より8名参加。真鯛船中2枚のみ。寺島氏は40cm級石鯛を釣り、大鯰も竿頭。大方がさすが沖釣りのベテラン。内水面では霞ヶ浦ホソへ真鯛ねらいで3名参加。のどかな釣り日和であったが、全く当りなく初めての3名ポーズ。4月に入り2名参加し、同じ高崎の棧場のホソで25~27cm級22枚の好漁。



今後の予定は、東京湾内にて6~7月共キス釣り。8月は手ぶらで行ける金沢八景新健丸のイシモチ釣り。道具仕掛け無料なのでぜひ初心者の方参加して下さい。川では鮎も解禁、梅雨に入れば手長エビ釣り、手長エビを餌にしてウナギ釣り。溪流も盛期に入り、てんから、餌釣りが楽しめる。7月下旬より京浜運河にてハゼが釣れ出す。磯の青物釣り、堤防の夜釣りも始まる。  
(柴田 昇/記)

## ウォーキング

平成28年5月15日(日) 南千住駅午後1時に11名が集合し、「旧千住宿界隈を歩く」をスタート。初めに小塚原刑場跡地を訪ね、続いて遊女達の供養で有名な浄閑寺に立ち寄り、しばしば訪れた永井荷風の詩碑も残されているのを拝見。その後、彰義隊の墓や無数の弾痕の残る上野寛永寺の門等を見て回りました。

千住大橋で15分の休憩をしてから旧日光街道に入り、江戸の名残りの「やっちゃ場」とよばれる青物問屋通りの往時のにぎやか振りを偲びながら歩きました。千住の投げ込み寺と呼ばれる金蔵寺を訪ね、更に大名の泊る陣屋まで足を延ばし、その広さに圧倒されました。

午後4時頃に北千住駅に到着して解散。その後は有志による懇親会を開きました。これからも「歩く事は健康の最良の薬」をモットーに皆でウォーキングを楽しみたいと思います。  
(飯島 勲/記)



## スポーツ観戦

皆様 応援ありがとうございました。早慶戦は勝点を挙げる事ができましたが、今季は5位に沈みました。7月に開催される日米大学野球選手権大会選考合宿にも早大からは1人も招集されませんでした。これが今の実力です。ちなみに東大からは宮台(投手)、田口(一塁手)の2名が招集されました。投打に核になる選手が必要です。夏合宿で大いに鍛えて秋季シーズンに期待したいところです。乞う御期待!!!!

(小林 昭一郎/記)



## 食べ歩き

第 68 回世田谷稲門回食べ歩き部会は、平成 28 年 5 月 20 日(金) 恵比寿ガーデンプレイス内のジョエルロブションにて開催された。平日開催であったが 40 名の参加があった。ジョエルロブションは 21 年前に、フランスのロアール地方の石材を取り寄せ建てられたそうで、中世のヨーロッパのような外観を持つ建物である。世界的にレストランを展開しており、ミシュランの星の合計が世界で一番になったこともあるそうです。料理は本格的フランス料理であり、参加者からは大変おいしいとの評判であった。

前原祖彦氏の乾杯の音頭で会が始まりました。鈴木宏治氏から「今こそ、小野梓の建学の精神に学ぶ」の講演会のご案内があり、小野梓氏についての非常に興味深い話があった。

レディースクラブの連絡、8 月 28 日の納涼会の案内、新規入会者の紹介とご挨拶、2 回欠席された方などの非常に楽しいスピーチなどがあり、盛況のうちに閉会となった。

最後に先述のジョエルロブションの建物の入り口の前で記念撮影を行った。

(大山 毅彦 / 記)



## ゴルフ

### 第 11 回世田谷稲門会・三田会懇親ゴルフコンペ開催

平成 28 年 5 月 18 日(水)、相模カンツリー倶楽部にて開催されました。稲門会 13 名、三田会 13 名、計 26 名で団体戦、個人戦を実施、団体戦は三田会が圧勝し稲門会の 9 連覇はなりませんでした。個人戦も 1～5 位が三田会の独占となり、完敗でした。

### 第 87 回世田谷稲門会ゴルフコンペ開催

平成 28 年 6 月 1 日(水)、山梨県の都留カントリークラブにて 21 名の会員の参加を得て開催されました。今回は 6 組(21 名)と参加人数が少なく、またレディースが一人も参加していないというちょっと寂しいコンペでした。天候は曇り後晴れで暑くなりました。ラフが深く難しいセティングの中、小林宏さんが 41:39=80、ハンデ 12、NET68 の 4 アンダーでベスグロ優勝されました。準優勝はパープレーの榎並俊一さん、3 位は広田進さんでした。グランドシニア優勝は菊池吉晏さん、シニア優勝は矢後勝洋さんでした。

第 88 回コンペは 10 月 5 日(水)、富士国際 GC 富士コースにて開催されます。

(榎並 俊一 / 記)



左から矢後さん、小林さん

## 写真

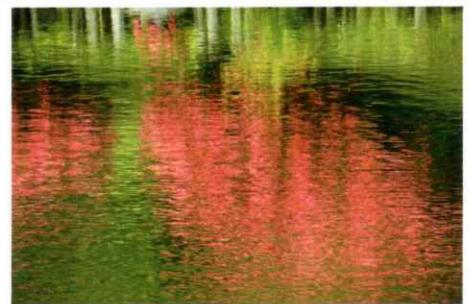
1 月から 5 月まで例会でプリントの実習を実施しました。次回からはプリンターの持ち込みはロードが掛かる為、ノートパソコンの持ち込みで、調整のやり直しを行い、必要なプリントは私が皆さんの画像データ(USB メモリーに入れる)を持ち帰り、次回の例会までにプリントして持ち込むことに変更致しました。データは TIFF 画像または JPEG 画像で、プリントの際に使用する画像処理のソフトはフォトショップを使用します。

例会での発表は A4 プリントサイズが最小サイズで、それ以上のサイズも OK です。発表枚数は制限ありません。何枚でも OK ですが、皆さんは 10 枚以上持参されます。

撮影ジャンルも自由です。デジカメにレンズアダプターを使用して、昔の各社のレンズを使用し作品を発表する方もいます。

例会は毎月第三木曜日の 10 時開催ですが、8 月は真夏なので、例年通り休会致します。

(種谷 鴻成 / 記)



六義園(撮影 種谷鴻成) …(2 枚とも)

## 会員の広場

### 二人のスポーツ人の

思い出

麻生 卓司(昭34政経)



加藤礼子さんと岩上健一さんが鬼籍に入り早いもので一年が経とうとしている。

同じ頃、西北会でお付き合いをした、懐かしいお二人である。岩上さんとは会長、幹事長として四年間過ごした間柄である。

加藤さんはご承知の通り女子フィギュアの草分けとして著名な方である。

人柄は芯の強い、とてもシャイな人でした。今、思えば七十歳過ぎと思われるが、モダンダンスを踊って居られ、若い人と一緒に舞台上立つ姿を拝見したが、躍動感に溢れる激しい動きに、唯、圧倒された思いがある。

我々三人は運動部に所属し、

年一回早稲田の運動部のOB総会で顔を合わせていた。

会場で加藤さんに挨拶に行っても、常にOBのおじさん連に囲まれて、私など近寄れない。

終わり頃、加藤さんは抜けられなくてごめんなさいと自ら私の席へ足を運ばれた。そんな大先輩です。岩上さんは応援部のキャプテン、監督をなされ、各部への顔が広く、いつも他部のOBを紹介していただき、私も多くの知己を得ました。

私はバドミントン部の出身で、三人でいつも会場の片隅で早稲田スポーツを話題に語り合い、杯を上げて楽しい時間を過ごしたものです。この貴重な時間は二度と戻ってこない。

よき思い出である。素晴らしい二人との出会いを喜ぶと共に、そのきっかけとなった世田谷稲門会に感謝したい。



### 多摩川の冒険

鷲巣 俊子(昭44文)



もう数年前になるが、同級生何人かで会った折り「運動不足だから少し歩こうじゃないか」ということになり、多摩川に沿って源流まで行ってみることにした。原則はただ一つ、なるべく水面に近い所

を歩くことである。朝10時から歩き始めて午後5時に上がり、その後は最寄り駅近くの居酒屋へとという寸法である。そして次回はその駅に10時に集合して歩き出すのである。結果として、1日に大体15〜16キロ歩いた。

まず第1回目は登戸駅に集合。最初は流れに近い所に道があつて歩きやすい。石を積み、鍋をかけて簡素な宴会をしている人たちがいた。その脇を、空き缶を詰めた大きな袋を括り付けた自転車風の風のように通り過ぎる。見渡せば青々としたヨシ(アシ)が茂り、それを刈り取って束ねたもの

を建材に、塀をめぐらし壁を作つて、屋根をブルーシートで覆つた立派な家がいくつも建っている。マイカーとして自転車置いてある。

2回目あたりだったろうか。流れの傍を歩いていったところ、だんだん道が狭くなつて遂にはなくなつてしまつた。左は高い急斜面、右は水面である。思案のあげく、堤防上には道があるだろうと斜面をよじ登ることにした。蔓草や灌木につかまり、今流行のポルダリングのように登る。

やつとのことで真ん中辺りまで登つた時、背後から何やら騒がしい声がある。振り返ると、遠い対岸の広い川原には少なからぬ行楽の人々が我々を見ているではないか。下にいた時はヨシに遮られて全く見えなかつたのだ。ますます汗が噴き出したが、降りることはできないから衆人環視の中を必死でよじ登つた。

息も絶え絶えで上に着いてみると、道がないどころか見渡す限り鉄柵のフェンスが続き、足の置場もない。それでも何とかせねばならない。鉄柵を握りしめ、爪先を柵にかけて一歩一歩横に移動、柵の破れ目を探し、幸い中に入る

ことができた。遠くに芝刈り機が見え、ゴルフ場らしい。ホツとしたのもつかの間、どうやって出ようか。「クラブハウスまで行つて訳を話し、出させてもらおう」と言う者もいたが、私は柵沿いに行けば必ず出口があるからそこから密かに出る作戦を主張した。何のことはない、ただ私は人見知りなのでゴルフ場の人に会いたくなかつたのだ。

見つかからないように匍匐前進で進み、道路に続く出入口に着いたが、扉には鍵がかかっている。しかし、地面と扉の間には隙間がある。そこで一番太っている者が腹這いになつて出られるかどうか試してみると、何とか通過した。リュックを柵越しに放り投げてから、大急ぎで次々に腹を泥だらけにして脱出、もちろん一目散に逃げた。

そんなこんなで数回歩いて多摩川の本流が流れ出す奥多摩湖まで到着、とりあえずの水源とした。そして締めくくりとして、最終回は登戸から羽田の穴守稲荷まで歩き、踏破したことにしたのであった。なかなか楽しかつたが、道がなくなつたら引き返すことをお勧めする。

## 異国研修生と

歩んだ10年

保倉 進 (昭25法)



平成5〜14 (1993〜2002)年の10年間(計20回)の研修体験を記します。

## \*研修の内容

ODA (政府開発援助) 途上国の経済援助、インフラ整備、福利厚生支援助、人材育成推進各事業の内、人材育成を政府から日経連国際協力センター (NICC) が引き受け、系列の日本産業訓練協会 (日産訓) のMTP (Management Training Program) が検討された。これは戦後アメリカ極東空軍が日本人企業管理者の訓練に使用したもので、当時の通商産業省が昭和25(1950)年日産訓に移管、戦後日本産業復興の有力企業管理職研修に実施、管理の基本、問題解決改善技法、人間関係など戦後日本経済界にはこの種の研修がなかったので瞬く間に普及、産業再建に大きく貢献

した。小生定年後、日産訓講師としてMTPを担当していた関係上、招聘研修生との、また東南アジア現地での研修体験の内容です。

## \*初めての英語講座

使用テキスト、教材の原本はすべて米空軍英語版で一部内容に日本企業の習慣など英文で追加されていますが、MTP英語版講座は日産訓でも初めてです。卒業後外資系企業で、ある時期研修担当 (トレーニング・オフィサー) で多少英語には慣れていても多量に英語には慣れていないつもりでしたが、第2回目のパプア・ニューギニアのピジン英語 (先住民言語と植民者語と混じった独自の言葉) に慣れるまで苦労しました。初回第1回は平成5(1993)年、アジア諸国より招聘19名中、英語コース9名担当、MTP研修会場は千葉幕張海外職業訓練協会で1週間の合宿でした。内容は企業管理者として必要な知識 (前述) 講義で4分程度のビデオの事例、グループ討議そして全体討議、ゲームなど変化を持たせた内容です。その後会場を随時移動、国内外合計20回、参加者は東南アジア16か国、女性68名を含む336名でした。

## 慣習と考え方の違いを知る

## \*権限の委任について

日本企業では専門職を除き一般管理者は部下育成として仕事の一部を部下に任せ、上司はさらに重要な仕事に取組み、それが企業発展へと進むことを説明しますが、自分の仕事を減らすことは即クビに繋がると考え、仕事は部下や他人に渡さないのが彼らの考えのようで、委任することは考えられない。マレイシア、シンガポールは契約で決められた以外の仕事はしないので委任は難しい。インドネシアも同様のようだ。

## \*ジェスチャー表現

グループの中のインド系の参加者は「分かった」を表現する場合「首」を横に傾けるので「NO」かと思ひ質問すると「YES」の意味で、否定的の場合あごを引いてうなづく格好をする。我々とは逆なので最初は戸惑った。インドネシア人は人を指す場合、親指を向ける。親指、人差し指で作る「OK」は通用しない。別の意味となる。

## \*時間感覚

研修開始9時と明示しても「集合時間」と解釈し、遅刻したり、しばらくお互い雑談し

たり全員の着席は20〜30分遅れるのが通常だった。特にインド、インドネシア、パプア・ニューギニアの人たちが多くのように思う。南方の人たち特有の習慣だろうか、規定時間を守る習慣はなくノンビリムードだ。

## \*普及しているニホン語

ビジネス用語としてカイゼン、カンバン (方式)、ハンチョウ、3ム (ムダ、ムラ、ムリ)、ネマワシ、5S (整理、清潔、整頓、清掃、躰け)、パチンコ、カラオケ、ノミニケーション、ベントウ、カロウシ、センセイ、サキ (酒)、ヤキトリなど。ノミニケーションは飲みながらの仲間との話し合いで、時には上司を交えて自由に話し合うことを説明すると彼らには想像もつかぬ事らしい。日本語を交えて説明すると喜んで聞くのが印象に残っている。

## \*討論について

「課題」についてグループ内で結論を出す場合、フィリピン、香港の人たちは自分の意見をはっきり言うが、東南アジアの人たちは反対の言葉を言わず何となく妥協する傾向があり、議論することをあまり好まぬ傾向が見られる。議論を喧嘩と思うのかもしれない。

## \*宗教上の事

食事、グループ編成、集合写真などで、ヒンドウ教徒とイスラム教徒との組み合わせは疎かにできぬ事を知った。インド、パキスタンの参加者はお互いが隣に座ることに気を使うようだ。同じグループにする微妙な雰囲気を感じる。食事会でもイスラムの人たちはアルコール、豚肉料理はダメ、インドの人たちは牛肉には手を付けず、野菜食者が多い。健康な日本人にはもったいない話だ。イスラムは握手を好まない。1日5回の礼拝を行う為か、講義途中でも何となく席を外し、メッカの方向に礼拝をしていたようだ。関西旅行の新幹線の中でも見られた。

## \*日本の印象を尋ねた結果

工場は公園のようだー日本人は食事も歩くのも早いーアルコール類の種類が多いーシヨウ・ウインドウがきれいー犬や猫に服を着せベビーカーに載せ散歩ー鉄道員の指さし確認ー風呂の入り方ーゴミが少なく何処もきれいー伝統文化を継承ー日本人の礼儀正しき親切さに敬服、などが挙げられた。

世田谷稲門会 会員異動状況 平成28年5月31日現在

〔新入正会員〕 個人情報につき不掲載

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	ブロック
笹村 武史	平23	政経				玉川
河野 あさ子	昭47	文				きぬた
福田 憲一	昭47	商				キャロット
メイソン ロイ	平21	国際教養				玉川
小河原 泰	昭41	商				
笠 富士人	昭50	商				きぬた
藤本 昌久	昭58	政経				きぬた
中西 泰介	平24	教育				キャロット

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	ブロック
小原 信弘	昭42	理工		玉川
岡本 一精	昭29	理工		さくら
竹松 昭一	昭24	法		
田中 和明	平02	理工		西北
西村 准也	平17	商		千歳

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	ブロック
近藤 順亮	昭31	商				さくら
横山 修	平6	理工				玉川
太田 隆	昭45	商				玉川
大山 毅彦	昭59	商				玉川
守口 均	昭55	政経				さくら

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
郡山 昌也	平25	社会院				
河津 延樹	昭51	法				
森 恭子	平10	商				
後藤 文夫	昭49	政経				

事務局からのお願い：

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話&ファックス 03-3305-4650  
e-mail; shinoshoko@gmail.com

編集後記

今年の入会キャンペーンの年でした。皆様の努力の甲斐あって、5月末時点で累計61名の新入会員の方々をお迎えできたことは本当にうれしいことでした。

6月11日に行われた総会に出席された新入会員の方々の力強い自己紹介をお聞きして、とても頼もしく思いました。

また、お寄せいただいた「部会だより」からは、会員の皆様が常日頃から活発に活動され、その活動を楽しんでおられることがうかがわれます。

特に最近発足した地域サポート活動は、「チャリティ」という肩ひじ張ったものではなく、世田谷という地元で暮らす者どうしとして何かできることがあったらやっていこうよ、といった早稲田らしいフットワークの軽さが新しい風を感じさせます。

このように活動の幅が広がることは、まだ入会されてない同窓生の方々にも新しいアピールになることでしょう。

今後とも、「進取の精神」に富んだ世田谷稲門会でありたいと思います。

(鷲巢 俊子/記)